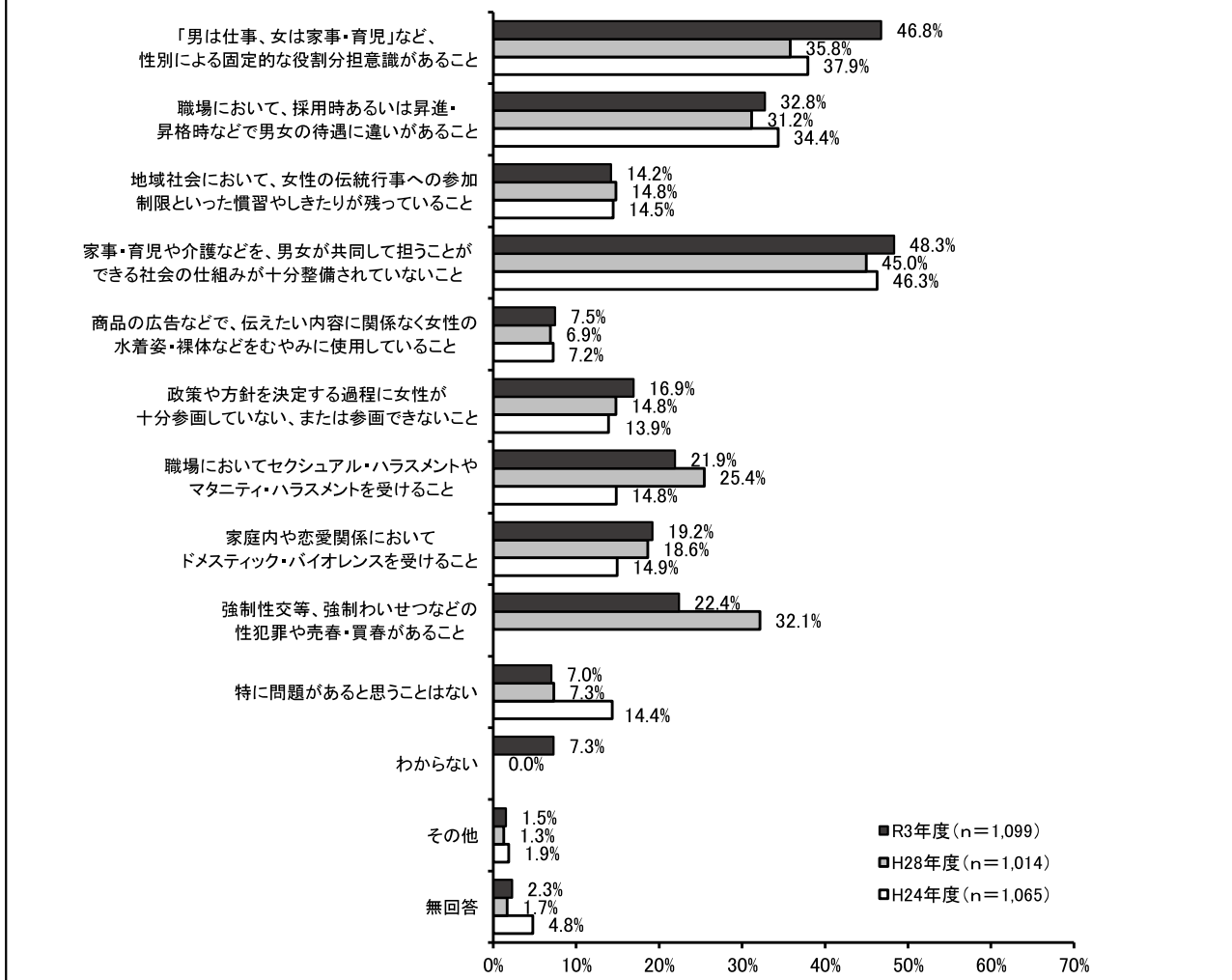


3-2 女性の人権について

(1) 女性の人権問題で、特に問題があると思うこと

問6 女性の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。



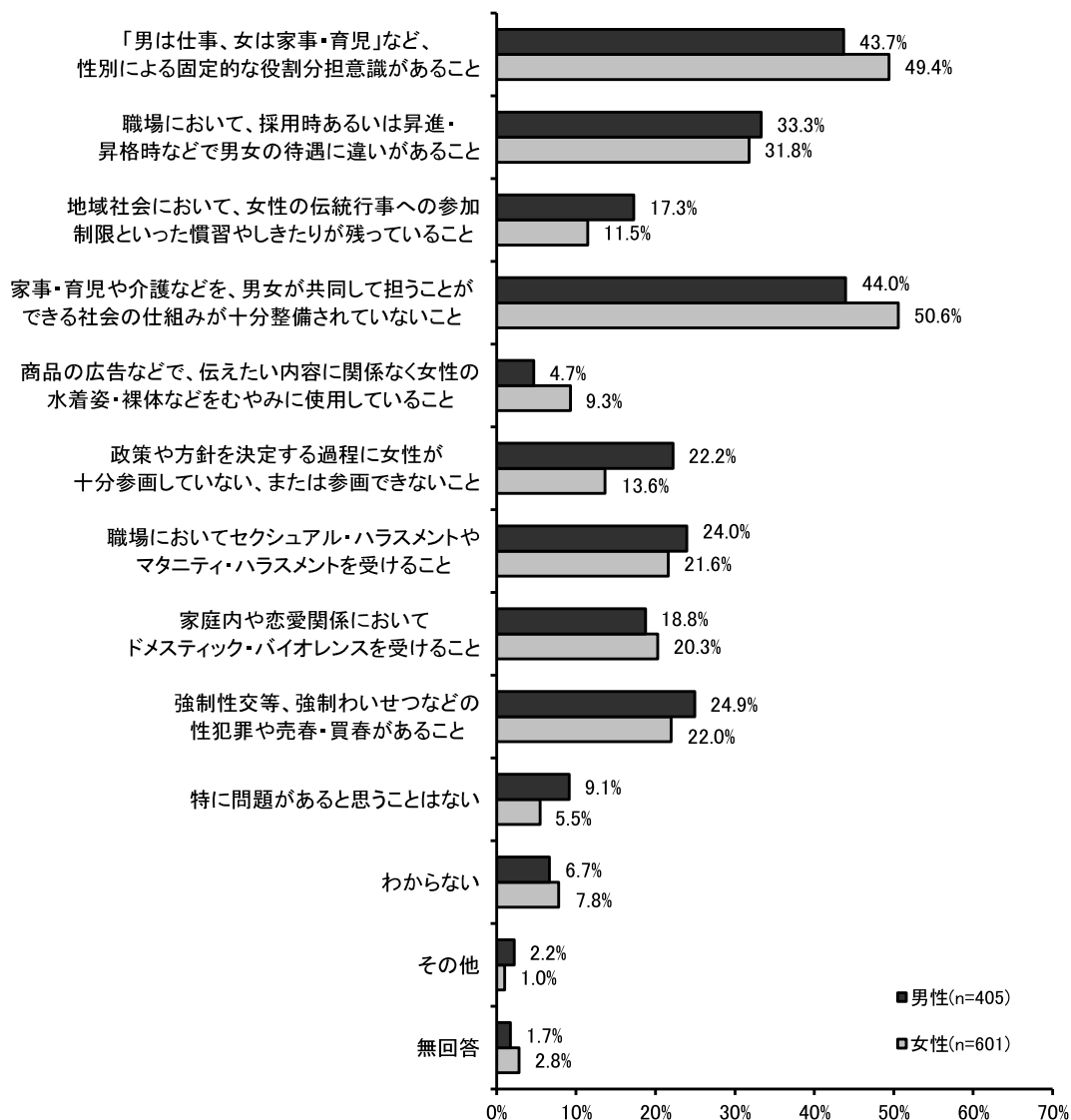
■「家事・育児や介護などを、男女が共同して担うことができる社会の仕組みが十分整備されていないこと」が48.3%で最も高く、次いで「男は仕事、女は家事・育児」など、性別による固定的な役割分担意識があること」が46.8%、「職場において、採用時あるいは昇進・昇格時などで男女の待遇に違いがあること」が32.8%の順となっている。

【前回・前々回比較】

■「男は仕事、女は家事・育児」など、性別による固定的な役割分担意識があること」は前回の35.8%より11.0ポイント増加し、「強制性交等、強制わいせつなどの性犯罪や売春・買春があること」は前回の32.1%より9.7ポイント減少している。

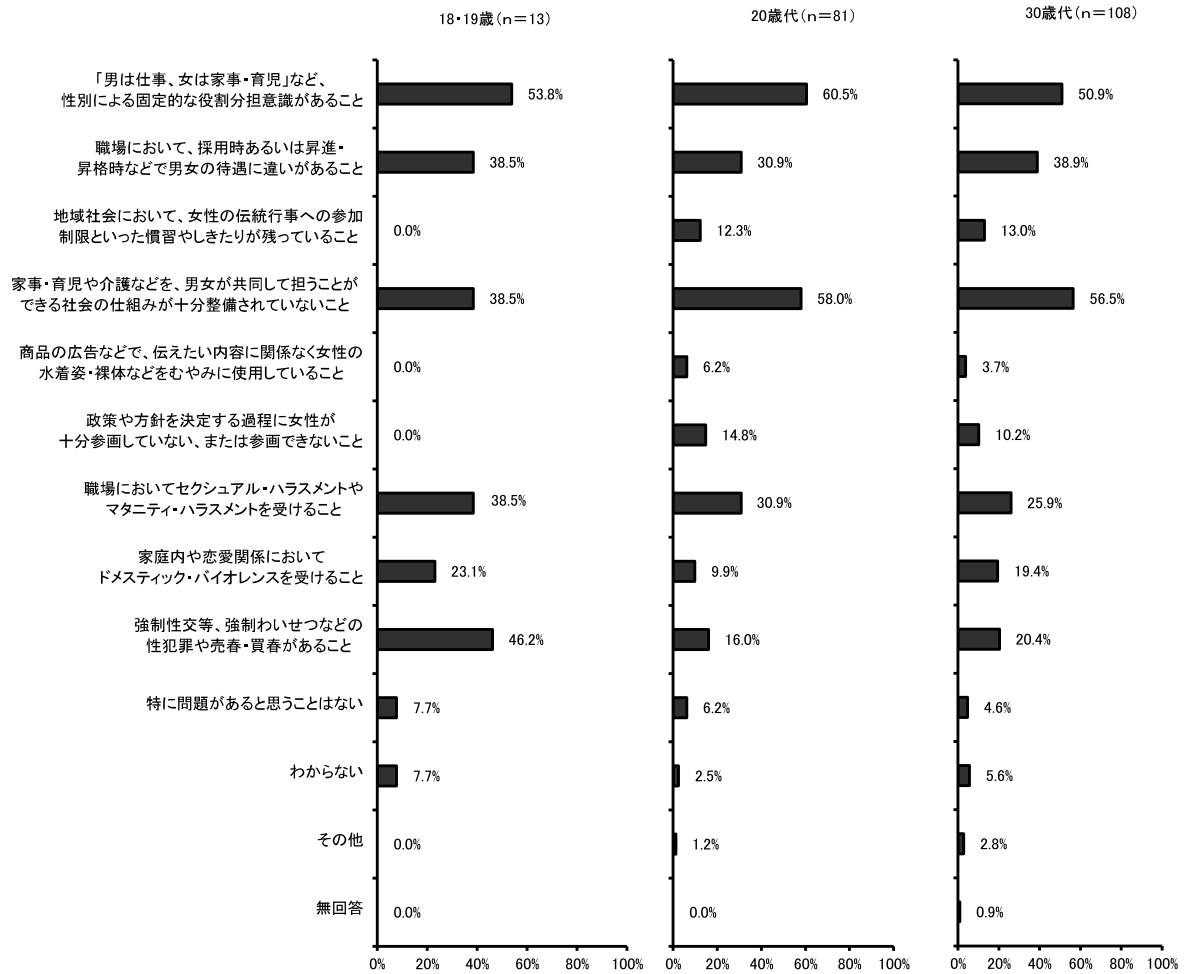
■「家庭内や恋愛関係においてドメスティック・バイオレンスを受けること」は前回の18.6%より0.6ポイント、前々回の14.9%より4.3ポイント増加している。

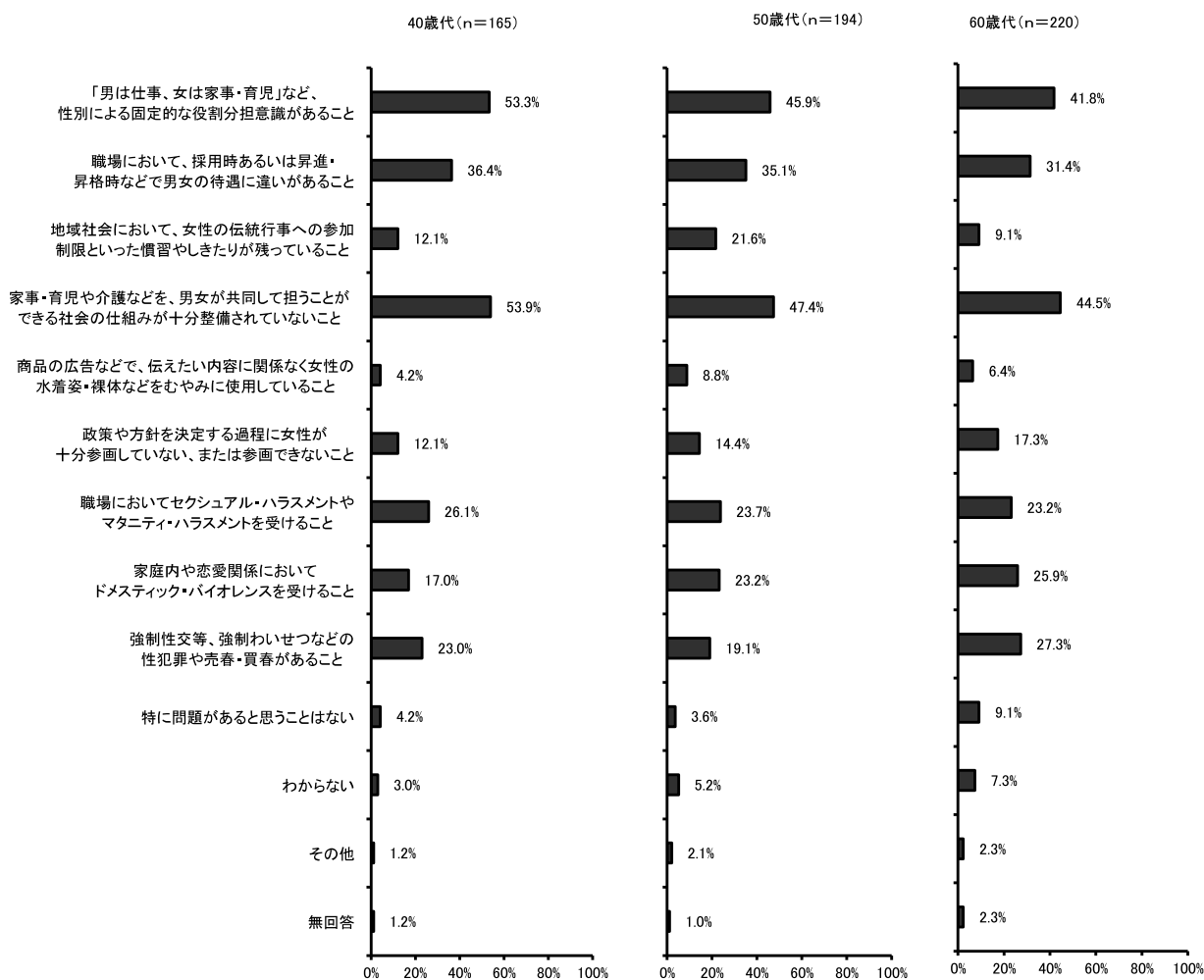
男女別

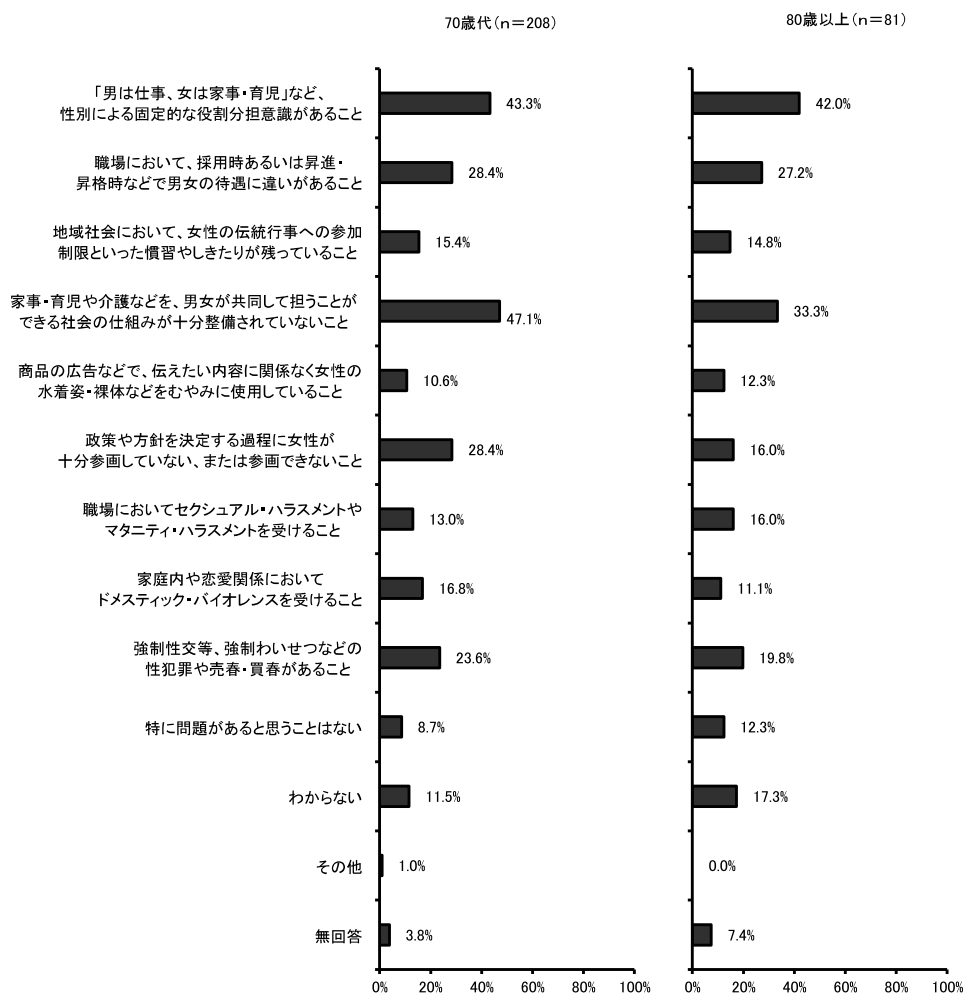


- 男女共に「家事・育児や介護などを、男女が共同して担うことができる社会の仕組みが十分整備されていないこと」、次いで「男は仕事、女は家事・育児」など、性別による固定的な役割分担意識があること」の順で高くなっている。
- 「男は仕事、女は家事・育児」など、性別による固定的な役割分担意識があること」は、女性が49.4%で男性より5.7ポイント、「家事・育児や介護などを、男女が共同して担うことができる社会の仕組みが十分整備されていないこと」は、女性が50.6%で男性より6.6ポイント高くなっている。

年代別





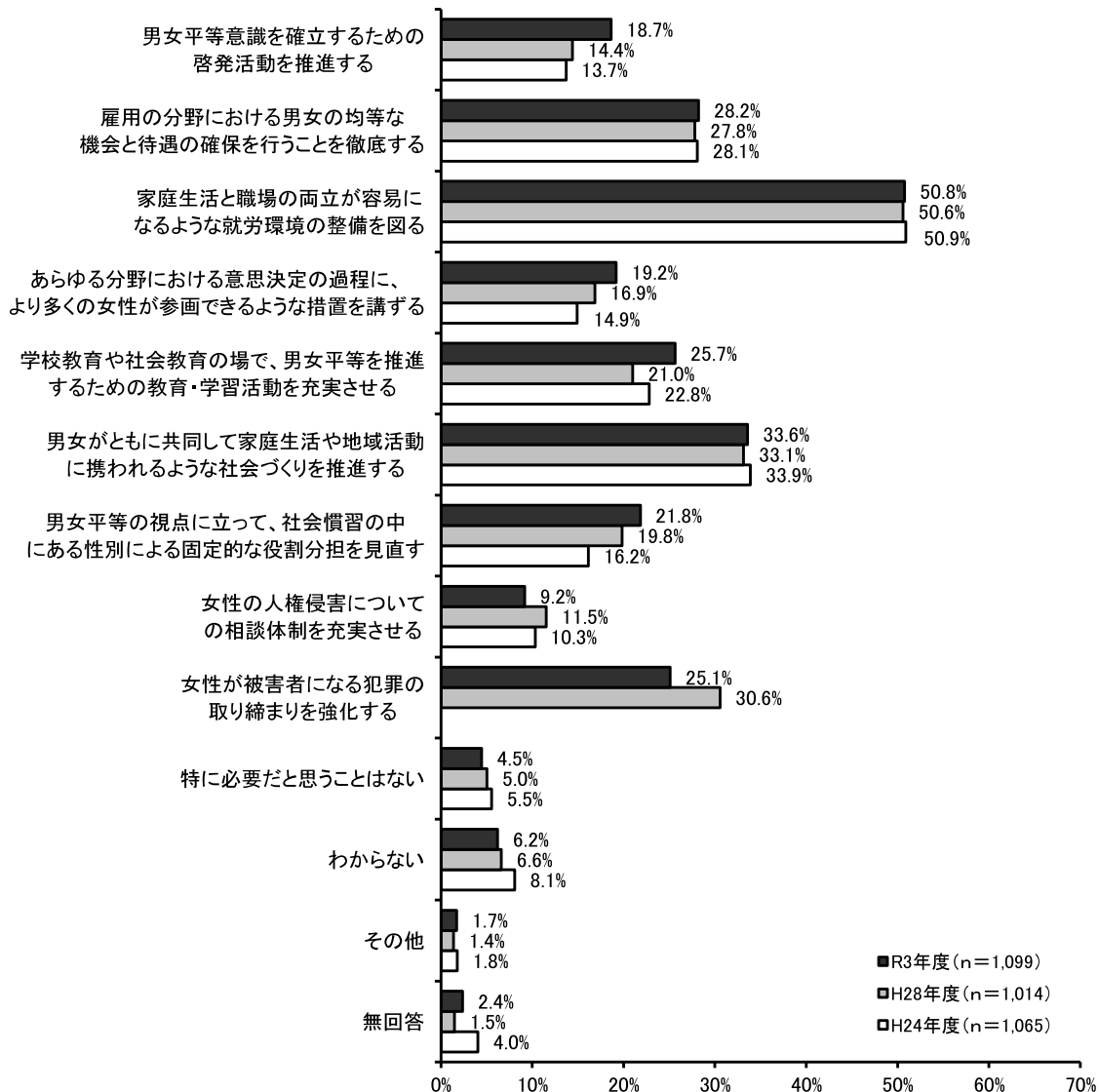


■いずれの年代においても「男は仕事、女は家事・育児」など、性別による固定的な役割分担意識があること、「家事・育児や介護などを、男女が共同して担うことができる社会の仕組みが十分整備されていないこと」が高く、40歳代以下では共に5割を超えている。

■60歳代以下では「職場においてセクシュアル・ハラスメントやマタニティ・ハラスメントを受けること」が、70歳代以上より高くなっている。

(2) 女性の人権を尊重していくために必要なこと

問7 女性の人権を尊重していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。



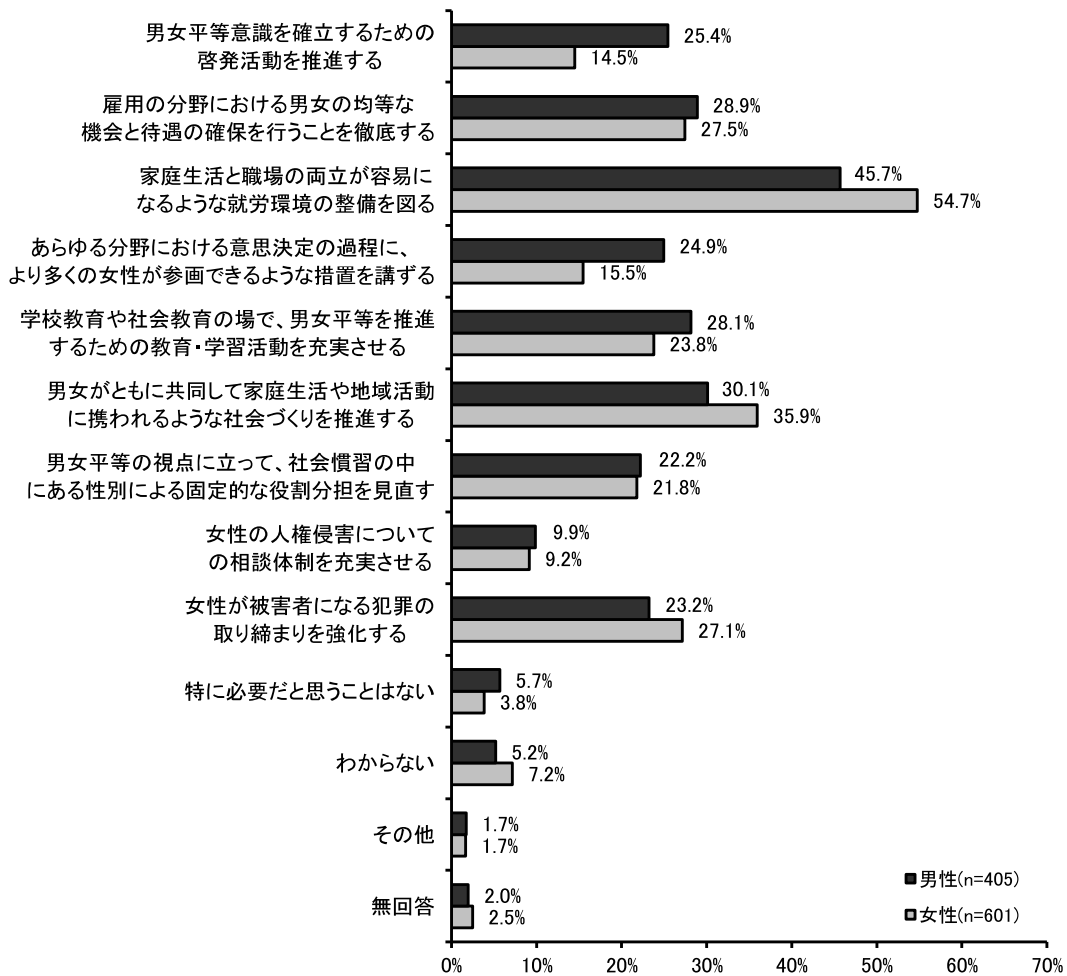
■「家庭生活と職場の両立が容易になるような就労環境の整備を図る」が50.8%で最も高く、次いで「男女がともに共同して家庭生活や地域活動に携われるような社会づくりを推進する」が33.6%、「雇用の分野における男女の均等な機会と待遇の確保を行うことを徹底する」が28.2%の順となっている。

【前回・前々回比較】

■「学校教育や社会教育の場で、男女平等を推進するための教育・学習活動を充実させる」は前回の21.0%より4.7ポイント増加し、「女性が被害者になる犯罪の取り締まりを強化する」が前回の30.6%より5.5ポイント減少している。

■「男女平等の視点に立って、社会慣習の中にある性別による固定的な役割分担を見直す」は前回の19.8%より2.0ポイント、前々回の16.2%より5.6ポイント増加している。

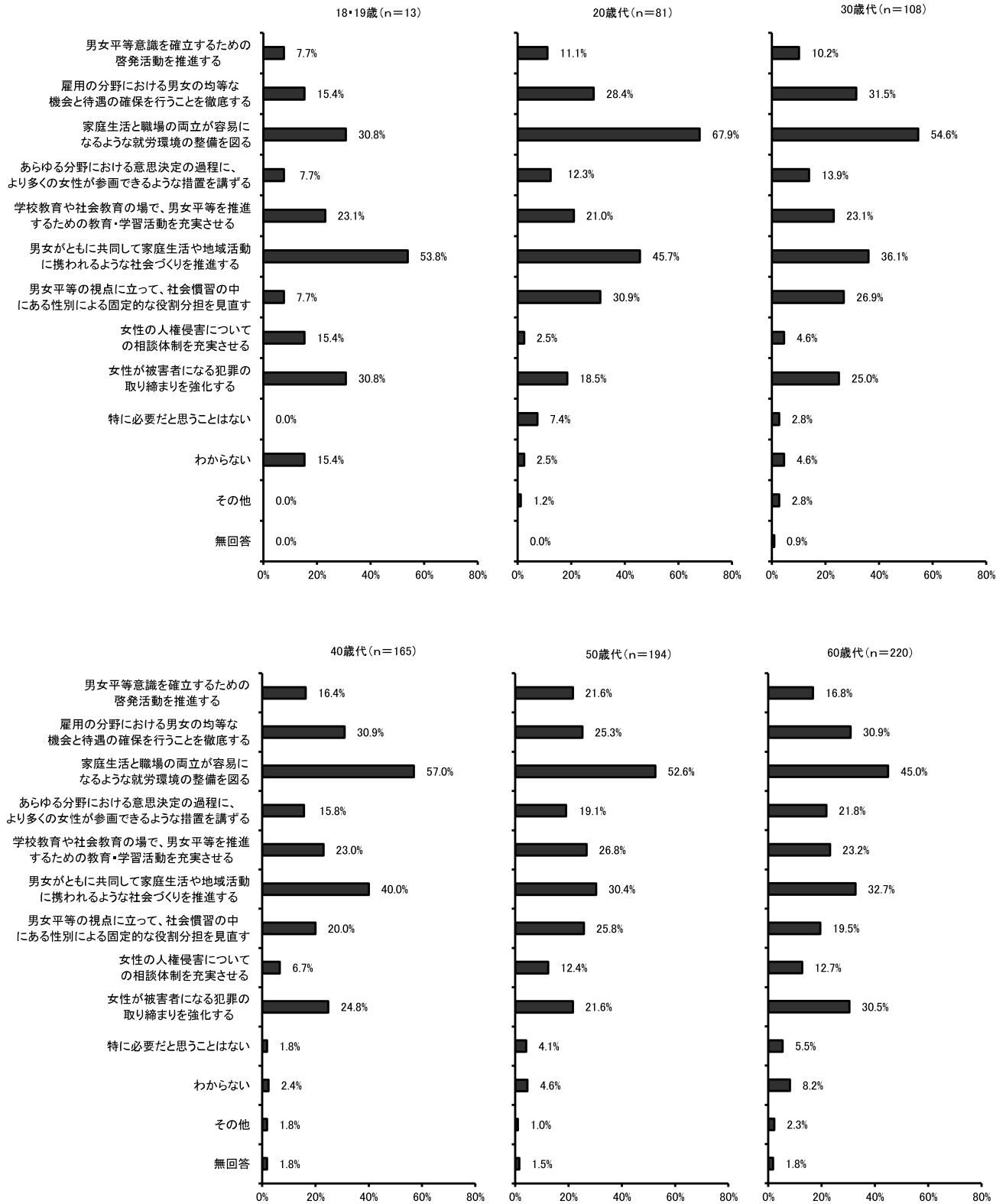
男女別

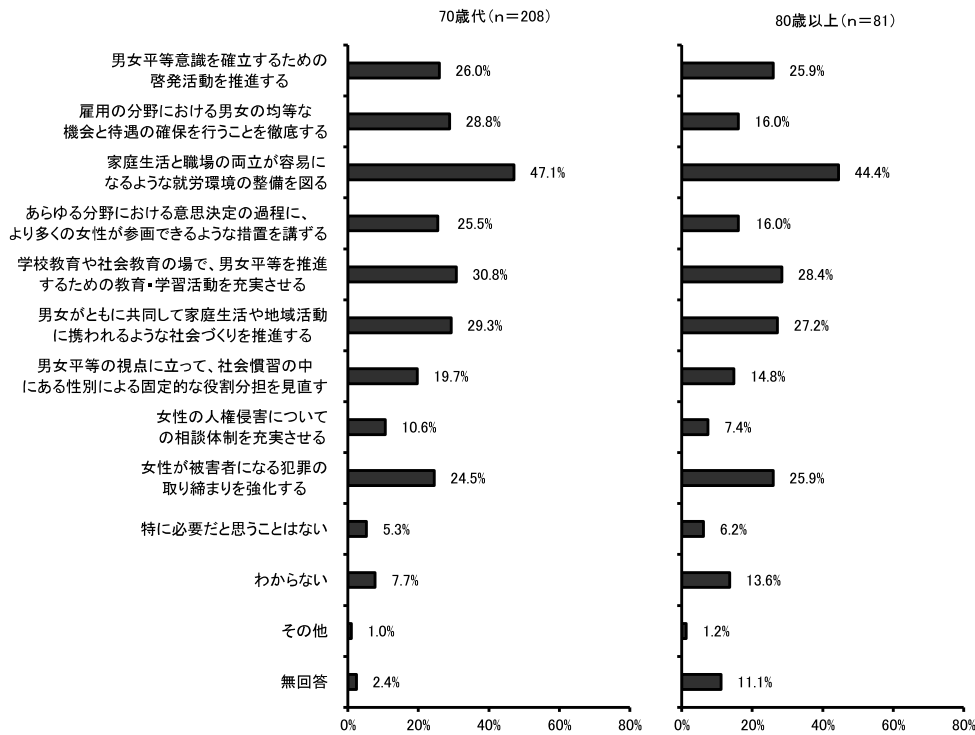


■男女共に「家庭生活と職場の両立が容易になるような就労環境の整備を図る」が最も高く、女性では5割を超えている。

■「男女平等意識を確立するための啓発活動を推進する」は、男性が25.4%で女性より10.9ポイント、「家庭生活と職場の両立が容易になるような就労環境の整備を図る」は、女性が54.7%で男性より9.0ポイント高くなっている。

年代別





- いずれの年代においても「家庭生活と職場の両立が容易になるような就労環境の整備を図る」が最も高く、50歳代以下では5割を超えている。
- 40歳代以下では「男女がともに共同して家庭生活や地域活動に携われるような社会づくりを推進する」が、50歳代以上より高くなっている。